

岩手日報

2020年(令和2年)9月16日(水曜日) (20)

三陸道建設技術に学び 八戸工大生 ICT見学



ICTを活用したバックホーの内部を見学する八戸工大の学生

久慈

八戸工大 坂本禎智学
基つき衛星利用測位シス
テム(GPS)を利用して

長)の学生や大学院生ら約
20人は15日、久慈市長内町
の三陸道建設現場で情報通
信技術(ICT)を利用し
た重機による施工を見学
し、最先端の技術への知見
を深めた。

施工を補助するバックホー
を見学。操作しても規定以
上は掘らないよう制御され
ている様子などを確認し
た。

北上市村崎野の小原建設
(小原志朗社長)が協力し、
学生らはICTの活用によ
って作業が効率化した事例
などを学んだ。現場では、
測量した3次元データに
基づき衛星利用測位シス
テム(GPS)を利用して
施工を補助するバックホー
を見学。操作しても規定以
上は掘らないよう制御され
ている様子などを確認し
た。

同大大学院社会基盤工学
専攻2年の堀合紳弥さん
(24)は「土木施工でこんな
に情報化が進んでいること
に驚いた。人的資源の減少
をカバーできる技術は、こ
れから重要度を増していく
のではないか」と話した。

※この記事・写真等は、岩手日報社の承諾を得て転載しています。